イスラ ムにおける 境保 （1/7）： 概要

5.0

明:イスラ ム的 点による宇宙、天然 源、そして人 と自然との の概 。

目: 事イスラ ム的システム 境

より:

A.バガデ ル博士、A.アッ＝サッバ グ博士、M.アル＝グラヤンド博士、M.サマッラ イ 博士（IslamRelig

日01 Aug 2011

集日 15 Feb 2015

神は宇宙のすべてを、 量と共に均等に り合わせて 造されました。神はクルア ンにおいて、こう宣言されています:

“??????????????????????????”??????54:49?

“…??????????????????????”??????13:8?

“??????????????????????”??????55:7?

宇宙には、膨大なる多 性が存在します。人 の福利を たす宇宙とその 々な 成分子は、 大なる 造主の です。かれこそがあらゆるものを 定したのであり、その 造物の内でかれをしないものはありません。

“??”??????24:41?

神の 造したあらゆるものは　的なしるしと深 な意味に ち溢れており、 造主とその 智、そしてその目的の　を指し示しているのです：

“??”??????20:53?54?

神は 智や　、または目的もなく、　にあらゆるものを 造したのではありません。神はこのように仰っています：

“??”?44:38?39?

それゆえ、クルア ンとして 示されたイスラ ム的 点は、宇宙が　に ちていることを明らかにしています。宇宙のあらゆるものはその相互　によって 持し合わせ、生死という奇 的な循 を支配する、唯一の神に仕えるために 造されたのです：

“??”????????6:95?

生と死は、善い行いによって神に仕えることの出来るよう、神が 造したものです。

“??”??????67:1?2?

すべての 造物は、その 造主に仕えるために られました。そしてその各々は、社会の中で定められた役割を果たすことにより、 世と来世において自らを、かつお互いを益し合うのです。このことは、宇宙的共生（アラビア の「タカ フル」）につながります。普遍的な福利とは、宇宙に 在する原理であり、神の唯一性を暗示する重要なものです。なぜなら人が 造主に仕えるということは、全体的な福利に して くことだからです。

人 はこの宇宙の一部であり、宇宙における相互 助の一 を担う 要素の中の独特な一部であり、他の部分に しても特 な役割を持っています。人 と宇宙の　は、 クルア ンにおいて

、そして 言者の教えによって以下のように明 に定 されています：

·宇宙とそこに存在するものに する熟考、思いやり、思 の　。

·人 の福利における有益なものの　と、利用の　。

·人 の善行としてのいたわり合いの　は、人 の利益だけに留まらず、全 造物にまでがります。つまり、“あらゆる生物に する善行には　がある”（サヒ フ ブハ リ ）のです。

神はその 智から、地上における代理（ヒラ ファ）という 限を、人 に与えました。それゆえ、人 は地球と宇宙の一部であるだけでなく、神の指示と命令を代行する役割も与えられているのです。つまり人 は地球の管理人ですが、所有者ではありません。また利益を享受する であり、制定者でも、 限者でもありません。天と地、そしてその にあるすべてのものは、神のみの所有です。人は神の意 した目的に沿って地球を管理することが任されており、それは自分たち、他者、そしてすべての 造物がお互いに益することが出来るためです。そのために、人は地球の 持管理を定められた　の中で委ねられているのです。 言者はこのように述べています：

“??”??????????

生命の存 に わるすべての 源は、私たちによってその管理を任されるよう、神によってられました。神はすべての人々だけでなく、すべての生き物に を授けるのです。

“?????????????????????????????????4???”??????41:10?

したがって、イスラ ムにおける 源の活用は、全人 と全生物にとっての特 なのです。それゆえ人 は同じ地球における共生者である他の生物の安全性や福利をも考　保しなければなりません。同 に、人は自分の世代を他の世代よりも 先させるべきではありません。それは各世代の共同 任として、天然 源を必要性に基づいた最善の方法で使用するべ

きであり、将来の世代に 影 を残すものや、福利に反するものであってはならないのです。つまり、人 は各世代が利益を被ることが出来るよう、天然 源を 用、酷使、乱用すべきではありませんし、それらを　的な意味で“所有”する 利もないということなのです。

神が人 に与えた天然 源をうまく活用する 利には、それらの 量を保 するという　も必然的に伴います。神は、人が生活の中で喜びを い出して感 し、与えられた物の有 な活用、また熟考、崇 といった本来の目的を　させるために、あらゆる生命の源、そして必要とされるあらゆる天然 源を、人 のために られました。人 の生活にとって本来 している自然の姿を改 したり、 境破 をしたりする 利など にもありません。また、むやみに天然 源を 拓し、他の生 系が必要とするものを ったり、それらを存 の危 に晒してもならないのです。

イスラ ムによる 境、生命の源、そして天然 源に する姿 は、乱用の禁止という 点に基づいていますが、同 に建 的、そして持 可能な 展にも根ざしています。こうした 合的な 展と、天然 源の保 は、地上に生命をもたらし、それらを 耕や建 的作 によって繁 させるという理念として明 にされています。神はこのように仰っています：

“…??????????????????????????????”??????11:61?

また、 言者はこう宣言しています：

“??”??????????????????????

“??”1

“??”2

イスラ ムによる地球 源の利用と　のアプロ チは、四代目正 カリフのアリ　ブン アビ　タ リブによって、放 された土地を　した男に して既に 践されていました：

“??”3

このような肯定的な姿 は、人 の利益と福利の 持に欠かせない健康や 、また心理的 精神的 面、そして未来の世代に する改善や向上策など、人生のあらゆる 面を向上させる行 も含みます。上 の 言者の宣言において示されているように、イスラ ムにおける 境の 持および の目的は、あらゆる 造物に共通する普遍的な利益そのものなのです。

Footnotes:

1

イマ ム アフマドのムスナド、アッ＝タバラ ニ のアル＝ムアジャム アル＝カビ ルによって 告されている、良好な
ディ ス。

2

イマ ム アフマドのムスナド、アル＝ブハ リ のアル＝アダブ アル＝ムフラド、アッ＝タヤ リスィ のムスナドによっ
ている、良好な 承者 路のハディ ス。

3

ヤヒヤ ブン ア ダム アル＝クラシ のキタ ブ アル＝ハラ ジの中で、サイ ド アッ＝ダッビ によって 告されてい

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/307

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。